

知っていますか？ レジオネラ

—加湿器の衛生管理—

レジオネラ症とは

レジオネラ症は、人から人に感染することではなく、レジオネラ属菌を含んだ微細な水しぶき（エアロゾル）を吸入することで起こる感染症です。衛生管理の不十分な水循環設備（冷却水や循環浴槽水など）が感染源となることで知られていますが、加湿器（特に超音波式加湿器）が感染源となることがあります。

乳幼児や高齢者など抵抗力の低下している人がかかりやすい傾向にあり、レジオネラ肺炎とポンティアック熱とに分けられます。

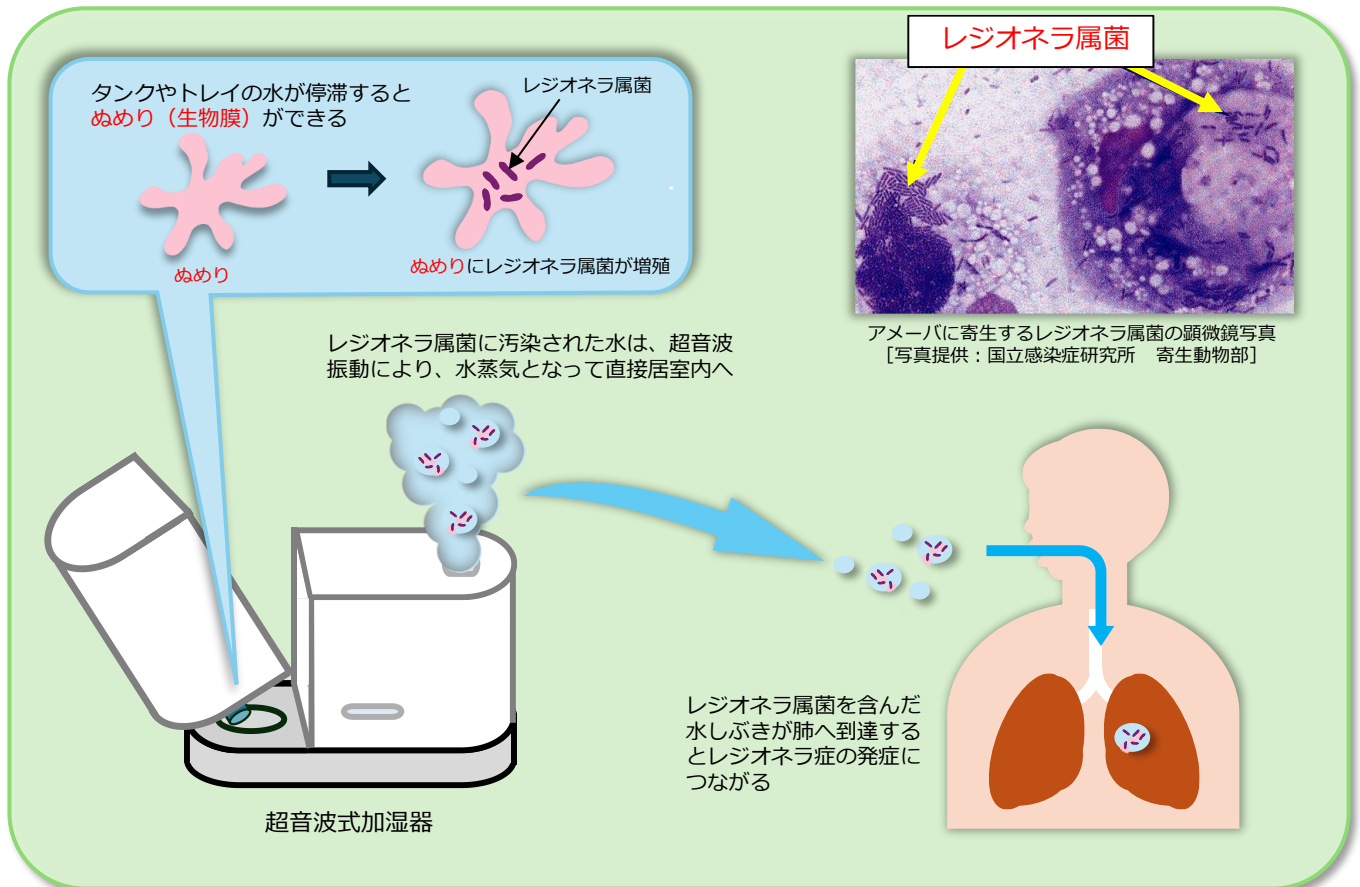
レジオネラ肺炎		ポンティアック熱
2～10日	潜伏期間	1～2日
高熱、寒気、 筋肉痛、吐き気、 意識障害など	主症状	発熱、寒気、筋肉痛
重症になり死に 至る場合もある。	特徴	非肺炎型。一般に数日 で軽快する。



レジオネラ症と超音波式加湿器

加湿器の給水タンクや給水トレイなど水が停滞しているところでは、レジオネラ属菌のすみかとなるぬめり（生物膜）が作られやすい環境にあります。加湿器のなかでも超音波式加湿器は、超音波により給水タンク内の水を、そのまま微細な水しぶきとして放出させます。そのため、給水タンク内の水がレジオネラ属菌で汚染されると、レジオネラ属菌も一緒に空間へ放出されてしまいます。

※超音波式加湿器と同じ機能を有する機器にも注意が必要です。



加湿器のタイプ

家庭で使われる加湿器は、大きく分けて下記のタイプに分けられます。ご家庭で使われている加湿器のタイプを確認しながら、次の管理のチェックポイントをみてみましょう。

蒸気式	気化式	超音波式
・加熱により水を蒸発させる ・レジオネラ症等の原因になる可能性は低い ・水に含まれるミネラル等が固着するため、定期的な除去が必要	・湿らせたフィルター等に風を当て、水を気化させる ・フィルター等に雑菌が増殖するため、定期的な清掃が必要	・超音波振動により水の微粒子を飛散させ、そこに風を送り霧のように吹き出す ・レジオネラ属菌等が増殖すると水分と共に飛散するため、こまめな水替えや清掃が必要

※ 気化式や超音波式では、加温により加湿効率を高めたハイブリッド式も販売されています。

管理のチェックポイント

レジオネラ症発生予防のためには、レジオネラ属菌が増殖する原因となる「ぬめり」をつけない・除去することが基本になります。以下の点に注意し、安全・快適に加湿器を使用しましょう。

■ 加湿器の給水には、水道水を使いましょう

水道水に含まれる残留塩素には、消毒効果があるため、レジオネラ属菌が増殖する原因となる「ぬめり」の発生を抑えることができます。

■ 毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう

給水タンク内や給水トレイに残った水は全て捨て、毎日水を入れ替えることで、レジオネラ属菌の温床となる「ぬめり」の発生を抑えることができます。

■ ぬめりを除去しましょう

「ぬめり」が見つかった場合は、拭き掃除やこすり洗い等をして、「ぬめり」を除去しましょう。また、レジオネラ属菌は乾燥に弱いため、給水タンクや給水トレイ等の水に触れる部分を乾燥させることも有効です。

■ 使用終了時には乾燥させてから保管、使用再開時にはよく洗浄してから使用しましょう

加湿器を必要とする季節が終わり保管するときは、濡れたまま保管するのではなく、しっかりと乾燥させてから保管しましょう。

保管してあった加湿器を使い始めるときには、水洗いをするなど洗浄してから使用しましょう。

